



今だから伝えたい”ありがとう”

～令和8年平戸市二十歳のつどい～

図 生涯学習課生涯学習推進班 ☎22-9214

1月3日、平戸文化センターで「令和8年平戸市二十歳のつどい」が開催されました。今年度20歳を迎える新成人282人のうち、鮮やかな着物やスーツを身にまとった228人が出席。会場は華やかな雰囲気にもまれ、友人たちとの久しぶりの再会に花を咲かせました。

式典では、松尾市長から各中学校の代表者に対して「二十歳の成人証書」が授与され、「これからの長い人生の中で、さまざまな困難が待ち受けているかもしれないが、皆さんには「平戸」という温かいふるさとがあること、そして、多くの仲間たちがいることを思い出して、チャレンジし続けてください」と式辞を述べました。

成人代表あいさつでは、藤村松里さん、初田僚真さんの2人が登壇し、これまで支えてくれた人々への感謝の気持ちと、これからの未来に向けた力強い決意を語り、会場からは大きな拍手が送られました。

式典前には、平戸市在住でシンガーソングライターの松崎京さんが、力強く優しい歌声で祝福し、新成人の皆さんは真剣な表情で耳を傾けていました。



▲新成人の皆さんを歌で祝福された松崎京さん

代表あいさつ(抜粋)



ふじむら かおり
藤村 松里 さん
(中野地区)

2025年度は、日本で初めて女性の内閣総理大臣が誕生し、多様な価値観が社会の中で認められ始めていることを象徴する出来事であったと感じています。これは、私たち若い世代にとっても大きな希望を与えるものでした。

私は中学・高校時代、佐世保の学校へ進学し、6年間、地元から通学しました。長い通学時間に悩み、時間が足りないと感じる日々もありましたが、帰り道のバスから見える平戸大橋は、私の心の支えでした。現在は県外の大学に進学し、化学工学を専門に学んでいます。大学で得た知識や経験を、将来、社会の役に立てられるよう、これからも勉学に励んでいきたいと考えています。

これまで支えてくださった皆さんへの感謝を胸に、新たな一歩を踏み出す決意を申し上げ、あいさついたします。



はつだ りょうま
初田 僚真 さん
(平戸地区)

これまでの20年間、多くのことを経験し、たくさんの人に支えられ成長することができました。この場を借りて感謝を述べたいと思います。

一番に伝えたいのは家族です。数えきれないほど迷惑、心配をかけました。特に母には酷い言葉で当たることが多くありましたが、高校生の時に朝早くから作ってくれたお弁当は世界一でした。

次に友人です。小中高、そして今でもずっと側に居てくれて、辛くて悩むことがあれば寄り添ってくれて、楽しくて嬉しい時間は一緒に共有できる存在です。一緒にいることができて幸せだと、会える機会が減った今、とても感じています。

これからの人生も楽しいことばかりではないと思います。その時は自分を見失わないよう周りを見てください。絶対に一人ではありません。これからも一緒に頑張りましょう。

中野中学校区



度島中学校区



田平中学校区



中部中学校区



平戸中学校区



大島中学校区



野子中学校区



生月中学校区



南部中学校区

